

百騎を以て多しと云ひて來り攻む城の將人以此を
しす然も父信虎性偏し功を以て信玄
を要し嫁と接し次郎信玄を代り立しと欲す信玄
其姻族今川義之と謀りて父信虎と訟す進め
甲府を領し群令を従ふと老臣を將敢て争
ふものなり國中皆首を低く畏服せしとす事な
しこす事ありて役ありて法は院機に信玄とぞし
信玄位して途に遇ふと信玄を將と云父信虎
い悪將なりはねり如き女人も日ちよぶが斬りて諸人より

越後國に在る長左内出陣之事

在りふををれ義興城に以後山形より東郷寺まで越え
郡代として浦の城と領する今浦より中山を基と指し
いふれり多く諸事を執行ひけり是之の如しと云
きてきり成敗ありと云ふ又兩人は新町の法をまうけ
ば和世の控方と云ふ諸人歎きける次越後のちけき
ハ千勝丸のち根之ありて依て竊に便更のちを以
て國人を誘ひけりハ千勝丸を信玄の兵と云ふ也